

甘木駅周辺整備基本構想 策定会議

1

朝倉市都市政策課

資料2

甘木駅周辺整備の必要性

交通結節点としての交通機能強化

国道322号は、北九州市から久留米市に至る約119kmの主要幹線であり、緊急輸送路の1次ネットワークに位置づけられ、福岡県も重点的に整備を進めている路線です。

また、甘鉄駅前交差点から東田交差点では、自動車交通量も多く、交通事故が多発しており、約5割が駅周辺のクランク部周辺に集中している状況です。

このようなことから、駅周辺部のクランクの解消に併せて、交通結節点である甘木駅周辺を整備することで更なる事業効果が期待できます。

新しいまちづくり

国道322号道路整備により、甘木駅周辺のポテンシャルが高まり外部からの事業参入が見込まれます。利便性が図れる居住エリアとして定住人口の増加を促し徒歩で暮らせるようなコンパクトまちづくりを目指します。

国道322号整備計画（案）



国道322号のクランク部の解消

➡ 現在



➡ 計画 (案)



これまでの経緯①

- ▶ 平成15年～ 国道322号クランク解消、駅統合等について、西鉄と意見交換
- ▶ 平成27年10月 国道322号（甘木～馬田）道路事業の早期着手を福岡県へ要望
- ▶ 平成28年6月 福岡県から市へ、国道322号道路改良計画に関する協力依頼
- ▶ 平成28年7月 甘木駅周辺の面整備事業の新規事業化を報告（全員協議会報告）
- ▶ 平成28年10月 福岡県が示した最低範囲の面整備等について実施することを県へ回答
- ▶ 平成29年2月 土地区画整理事業による整備について、平成29年度より調査することを報告（朝倉市全員協議会）
- ▶ 平成29年3月 国道322号の都市計画変更を決定（都市計画道路として決定）
- ▶ 平成29年7月 九州北部豪雨により事業中断

これまでの経緯②

- ▶ 令和 2年3月 九州北部豪雨による市財政状況が大きく変化したこと、また、当時から数年が経過し、社会情勢も大きく変化したことから甘木駅周辺整備について再検討することとした。
- ▶ 令和 3年度 市職員による市庁舎、甘木駅周辺市街地の新しいまちづくりを検討
- ▶ 令和 4年8月 土地区画整理事業以外の事業手法による駅周辺整備を選択したことを報告（朝倉市全員協議会）
- ▶ 令和 5年 朝倉市の中心市街地の在り方について市民ワークショップ開催（全2回）
- ▶ 令和 5年3月 社会実験として甘木駅前マルシェ開催

新市庁舎と甘木駅を拠点とした新たなまちづくり

■ まちづくり構想

新たなまちづくりは、甘木駅の周辺地だけで考えるのではなく、新市庁舎と甘木駅を拠点としたエリアを計画範囲とする。

■ まちづくり構想の必要性

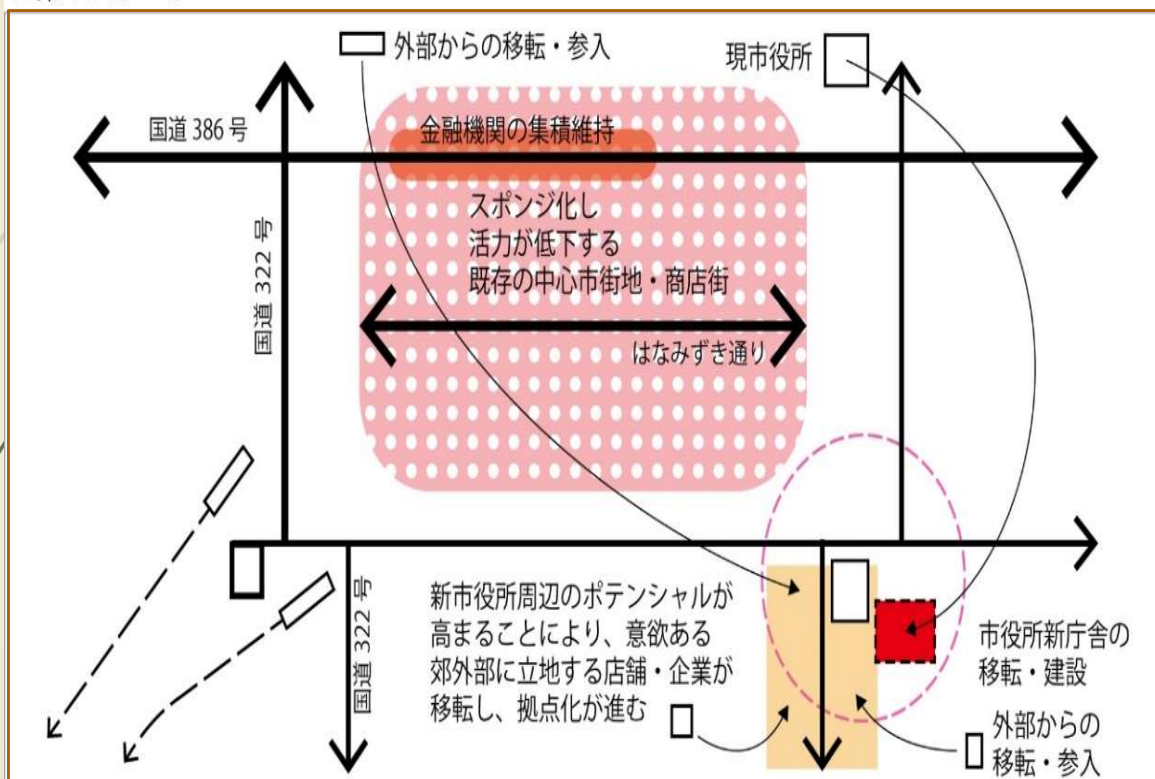
- ・人口減少に歯止めをかけ、地方創生を進めるため、新市庁舎と甘木駅を拠点としたまちづくりが必要となる。
- ・市の玄関口となる甘木駅周辺の整備を行い、交通結節点の強化を図ることで、定住人口、及び交流人口の増加を目指す。

■ 事業推進

- ・立地適正化計画、都市計画マスタープランの整合性を図り、甘木駅周辺整備を含めたまちづくりの基本構想を策定する。
- ・国道322号道路事業については、西鉄の協力が必要となるため、国道322号道路事業と甘木駅周辺整備を併せて事業推進を図る。

市街地の機能更新イメージ①

■第1ステージ



➤ 現状

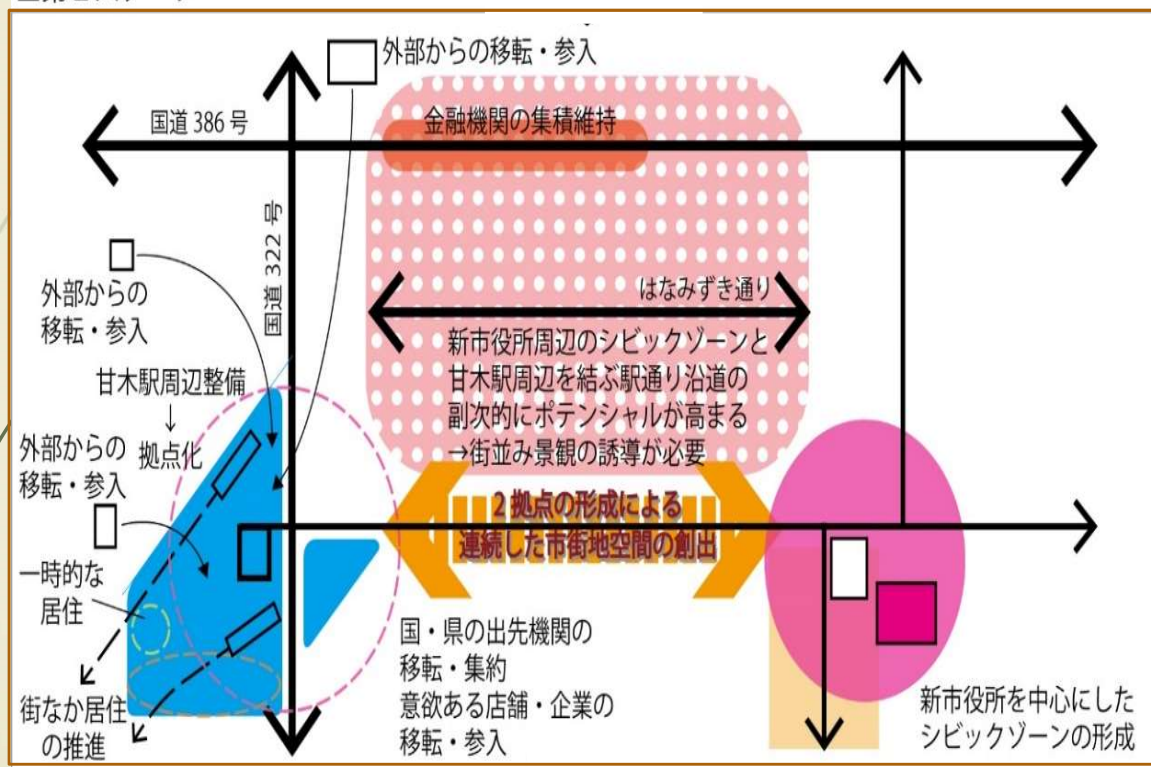
- ・ 既存の中心市街地はスポンジ化し、活力が低下している。

➤ 市庁舎移転

- ・ 新市庁舎周辺に企業、店舗等が参入することで拠点化が進み、都市としての魅力が高まる。

市街地の機能更新イメージ②

■第2ステージ



➤ 甘木駅周辺整備

- ・ 国道322号と甘木駅周辺を整備することで、店舗、病院等の利便施設の参入により拠点化が進み、併せてまちなか居住が推進される。

➤ 連続した市街地空間の創出

- ・ 新市庁舎と甘木駅周辺の拠点を結ぶ街路のポテンシャルが高まり、沿道に賑わいが生まれる。

国道 386 号

外部からの移転・参入

金融機関の集積維持

定住にシフト

はなみずき通り

外部からの移転・参入

リノベーション手法を中心にした街の魅力アップシビックゾーンとゲートゾーンの街なかへの波及効果や、外部からの移転による街なか回帰

国道 322 号

拠点整備による波及効果

拠点整備による波及効果

2 拠点の形成による連続した市街地空間の創出

甘木駅周辺のゲートゾーンの形成

定住にシフト

文化会館通り沿道土地利用の適正化とコントロール

外部からの移転・参入

シビックゾーンの更なる利便性の向上

- ・新市庁舎と甘木駅を拠点とした新たなまちづくりの波及効果により、新プラン21計画にて整備した中心市街地エリアの低未利用地等へも外部より店舗等の参入が期待される。
- ・甘木駅周辺の宅地開発等により、中心市街地への定住促進が期待できる。

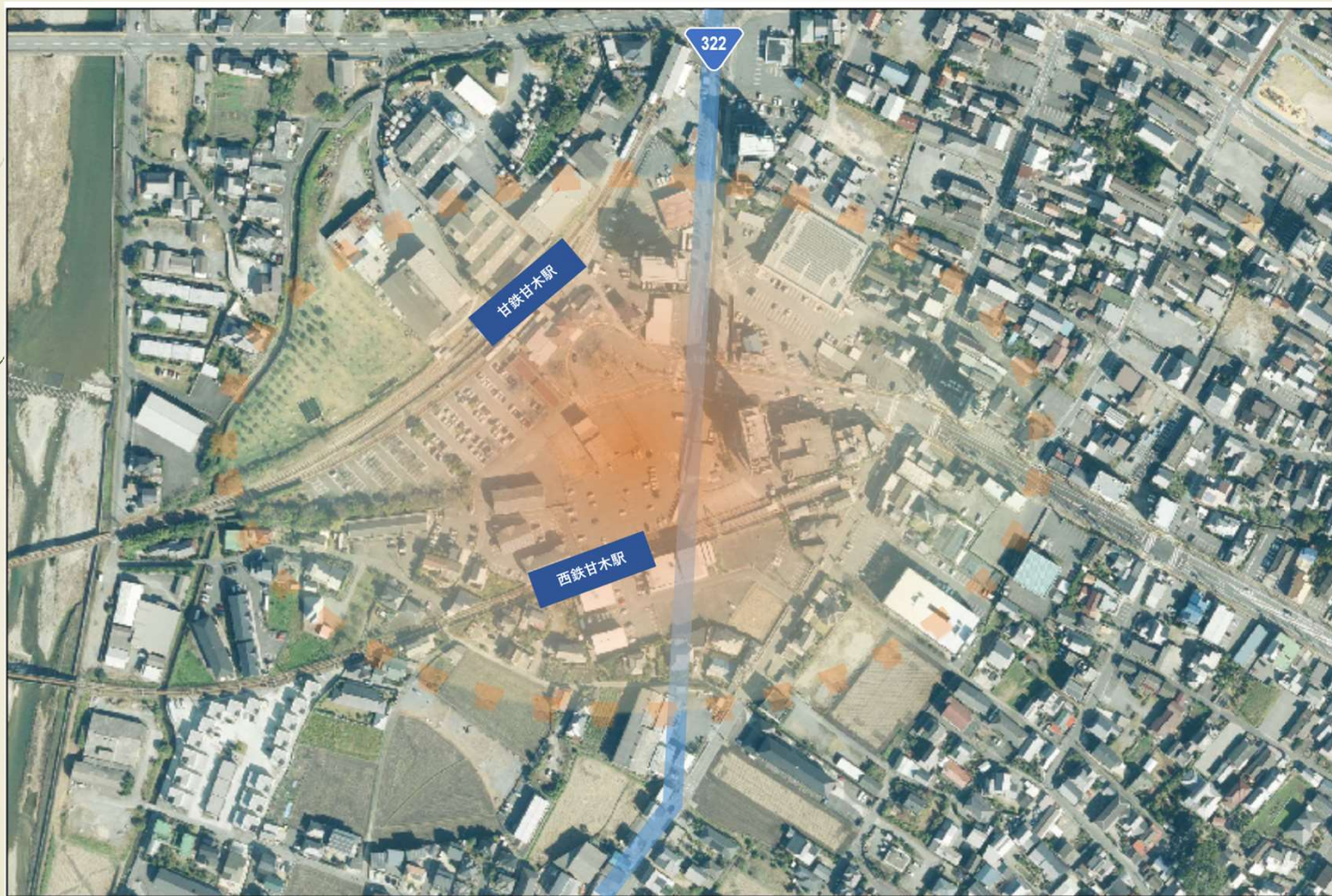
基本構想策定の体制

策定会議の位置づけ・目的・目標等

会議の位置づけ

メンバー	組織	内容
	市長	基本構想の決定
策定会議委員	甘木駅周辺整備基本構想 策定会議	基本構想を市長に報告 ↑ 基本構想の合意 ↑ 基本構想案に関する検討
策定会議部会員	作業部会 ・コンセプト検討部会 ・その他	市民意見集約・基本構想の検討
庁内関係課職員、 事務局職員	庁内関係者会議	関係者協議 (開発、道路、水路、上下水道、交通等)

事業検討区域



整備実施に至る 3 条件

- ➡ 市財政状況が逼迫する恐れが生じないとの見通しが立つこと
- ➡ 本整備に係る全ての地元関係者等の協力が確認できること
- ➡ 国道 3 2 2 号整備および西鉄甘木線駅舎移転が実現すること

事業スケジュール（予定）

年度	朝倉市	福岡県
令和5年度	基本構想策定（専門協議含む）	国道322号 村崎交差点南側 事業実施
令和6年度		
令和7年度	基本実施設計業務	国道322号 村崎交差点北側 地元説明、測量設計等